

## 尿検査

学校保健の尿検査は、慢性的な病気（腎臓、膀胱、尿道）・異常の有無を早い時期に発見して適切な治療を受けさせ、健康で充実した楽しい学校生活を送れるようにする目的があります。

児童・生徒に多い腎臓病は、急性糸球体腎炎（急性腎炎）、ネフローゼ症候群（ネフローゼ）、慢性糸球体腎炎（慢性腎炎）、紫斑病性腎炎、尿路感染症、腎結石などがあります。

更には糖尿病、肝臓病、膠原病、骨髄腫、悪性腫瘍などを発見する手がかりとなります。

## ぎょう虫卵検査

ぎょう虫症には、かゆみ感、それに伴う感情障害（イライラ・落ち着きのなさ）、注意力の散漫、睡眠不足、肛門周辺部の炎症・細菌感染などの症状があり、体力・学習意欲の低下にもつながります。

盲腸にも寄生するので、虫垂炎の原因になることもあります。

感染者を早期に発見し治療することで、施設内での集団発生を未然に防ぎ、安心して楽しい学校生活を送れるようになります。

## 寄生虫卵検査

海外、特に発展途上国などではごく当たり前の病気として未だに大きな勢力を誇っています。

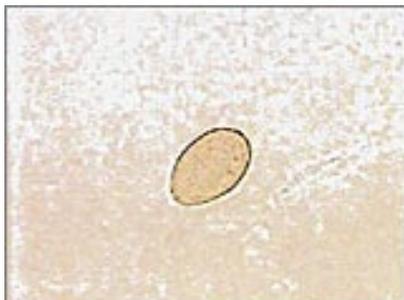
日本国内では、衛生状態が良くなり寄生虫は少なくなっていますが、海外からの輸入食品、無農薬野菜の流行と共に最近では、徐々に増加の傾向が見られます。

寄生虫の卵や幼虫は、食べ物に付着し口から体内に入り、成虫となって腸などに寄生します。

寄生虫卵の検査は、便を採取して一般虫卵の有無を調べることで、寄生虫症の原因がわかります。



ぎょう虫卵(虫体)(×400倍)



横川吸虫卵(よこがわきゅうちゅうらん)(×400倍)



### 関係法令

学校保健—学校保健法（改正後—学校保健安全法）[<http://www.houko.com/00/01/S33/056.HTM>]

昭和 33 年 4 月 10 日法律第 56 号（文部科学省）

平成 21 年 4 月 1 日 政令名の改正（文部科学省）